日工組通信 第68回

過去、現在、さらに未来へと パチンコクロニクル60

2001～2020

2000年代はパチンコの〝成熟期〟だったのかもしれない。毎年のように、現在のパチンコの礎となる大ヒット機種が誕生した。日工組が誕生した1960年から今までの60年間を、20年ごとに区切って振り返る「パチンコクロニクル60」の最終回。

F記者　入社3年目。パチンコは初心者も知識は豊富。好奇心が強く行動力は人一倍。最近の若者らしく、従来の縦社会にはなじまない。

B氏　パチンコの歴史に精通している自称「パチンコ研究家」。現在にいたるまで半世紀以上にわたってパチンコと向き合ってきた。

F　過去2回にわたって解説いただいたパチンコの歴史、本当に興味深かったです！

B　2000年代には現在のパチンコの礎となるようないくつかの機種が生まれました。真っ先に挙げるべきは2004年の「CR新世紀エヴァンゲリオン」（ビスティ）ですね。「エヴァ」の功績の1つはアニメとのタイアップの成功例となったこと。当時の「エヴァ」は一般的に広く知られているとは言えませんでしたが、それでもパチンコとして大ヒットしたことで、「アニメとのタイアップ」というパチンコの1つのジャンル、方向性が確立されたと言えます。

F　今ではアニメタイアップ機は本当に多いですもんね。

B　ゲーム性では「突然確変」、演出では「次回予告」、この2つもその後のパチンコには大きな影響を与えました。

F　現在はシリーズで14作目。本当に偉大な機種なんですね！

CR新世紀エヴァンゲリオン（2004年）

©カラー ©カラー／Project Eva.
Bisty FIELDS

B　続いては2006年の「CRぱちんこ冬のソナタ」（京楽）です。2004年に放送されて空前の韓流ブームを巻き起こしたドラマ「冬ソナ」とのタイアップ機ですね。「冬ソナ」の名前やヨン様の顔は誰もが知っていましたが、とは言え、ドラマの主なファン層は女性だったので、パチンコになって人気が出るかどうかは未知数だったんです。

F　ところがホールに設置されると、大ヒットした、と。

B　文字通り老若男女を問わず、多くの人に愛されましたが、特にパチンコをしたことがないような原作ドラマファンの女性をホールへと向かわせた功績は大きかった。新たなファン層を獲得したわけですから。

F　そこまで人気を集めた理由はどこにあったのでしょう？

B　素材が恋愛ドラマなのでパチンコの定番であるバトル演出もなくて、大当り期待度の高い実写リーチでも、チェ・ジウがヨン様を見つけられれば大当り、という流れ。〝大人のための良質なエンタメ〟だった。視覚だけでなく、大当りの瞬間の「ヨンウォニ～♪（永遠に）」やイントロから印象的な主題歌など、聴覚に訴える要素も秀逸でした。

F　たしかに恋愛モノっぽい硬派な演出がウケたのではないかと思っています。冬ソナが「純愛」を貫いたのに対して、こちらは「戦」を貫いたと言いますか。

B　2007年には「CR花の慶次」（ニューギン）が現れます。こちらもそれまであまりなかった「戦国モノ」でした。

F　「ランクアップボーナス」も初めての搭載だったんですよね。

B　「どこまで続くかわからない大当り」というのも新鮮だったことは間違いありません。ただ、個人的にはデフォルメされたキャラなどが一切出ない硬派な演出がウケたのではないかと思っています。冬ソナが「純愛」を貫いたのに対して、こちらは「戦」を貫いたと言いますか。

F　まさにパチンコ界の傾奇者だったと（笑）。

B　「キセル」のカッコ良さ、アツさも魅力でした。わかりやすい演出が1つあるというのは、翌2008年に出てきた「CR牙狼XX」（サンセイR&D）も同じ。連続予告が3回続けば大チャンス、という通常時の演出の流れは「待ち」が明確で誰にでもわかりやすかった。ゲーム性で言うと「1種2種タイプ」の先駆けという面もありました。

F　ここまでに出てきた4機種はどれもシリーズ化されていて、現在でも新作が出ていますよね。

B　いずれも「もしもこの機種が存在しなかったら、その後のパチンコはどう違った進化をしていただろう」と思わせるほど、その後のパチンコに大きな影響を与えました。

F　そんな機種がどれも2000年代に相次いで誕生したというのも興味深いですね。

B　まさにこの5年ほどの間にパチンコは一気に花開いて、演出面でもゲーム性でも核となるものが生まれた。その後は改良と進化を繰り返しながら、現在に至ると。

F　豪華な時代だったんですね！

CRぱちんこ冬のソナタ（2006年）

©KBS Media／Pan Entertainment All Rights Reserved.,
©KYORAKU

CR花の慶次（2007年）

©隆慶一郎・原哲夫・麻生未央/NSP 1990,
版権許諾証 GC-307　©Newgin

CR牙狼XX（2008年）

©2005 雨宮慶太／Project GARO ©2006 雨宮慶太／東北新社・バンダイビジュアル ©Sansei R&D

この春から「遊タイム」搭載機登場

B　そんな〝花の200 0年組〟を経て、CR機からP機へと移り変わり、さらにこの春からは「遊タイム」搭載機も登場しました。これは特定の回転数、大当りがないと時短に突入するというもので、初めてのゲーム性です。今は「Pフィーバー真花月夜桜バージョン」（SANKYO）と「Pリング 呪いの7日間2」（JFJ）の2機種のみですが、今後は遊タイム搭載機が続々と登場する見込みです。

F　遊び方に幅が出そうですし、プレーヤーにとって優しい側面もありますし、楽しみですね。

B　さらに近い将来にはシマを必要とせずに1台ですべてが完結する「未来の次世代機」の登場も期待されています。

F　これからも大衆娯楽として私たちを楽しませてくれるといいですね！

遊タイム

Pリング 呪いの7日間2

©1998「リング」「らせん」
製作委員会　©JFJ

遊タイム

Pフィーバー真花月夜桜バージョン

©SANKYO

世相史 ／ 遊技業界史

	世相史	遊技業界史
2001（平成13年）	イチロー、大リーグへ	
2002（平成14年）		内規改正により大当たり後に時短がつけられるように
2003（平成15年）	阪神タイガース18年ぶりに優勝	
2004（平成16年）		CR新世紀エヴァンゲリオン登場
2005（平成17年）	京都議定書発効	CR北斗の拳登場
2006（平成18年）	トリノ冬季五輪で荒川静香が金メダル	CRぱちんこ冬のソナタ登場
2007（平成19年）	郵政民営化スタート	CR花の慶次登場
2008（平成20年）	米大統領選でバラク・オバマ氏が当選	CR牙狼XX登場
2009（平成21年）	政権交代	
2010（平成22年）		
2011（平成23年）	東日本大震災	
2012（平成24年）	東京スカイツリー開業	CRぱちんこAKB48登場
2013（平成25年）	流行語大賞「今でしょ!」	前年登場のトキオをきっかけに羽根モノ人気が再燃
2014（平成26年）	ソチ冬季五輪で羽生結弦が金メダル	
2015（平成27年）		
2016（平成28年）	「君の名は。」「シン・ゴジラ」大ヒット	ぱちんこCR真・北斗無双登場
2017（平成29年）	藤井聡太4段が29連勝	ちょいパチ登場
2018（平成30年）		
2019（令和元年）		
2020（令和2年）		「遊タイム」搭載機登場

次回掲載は7月31日です
過去の掲載はこちらで読めます
http://www.nikkoso.jp